



# 2019年6月期 第2四半期決算説明会

2019年3月1日

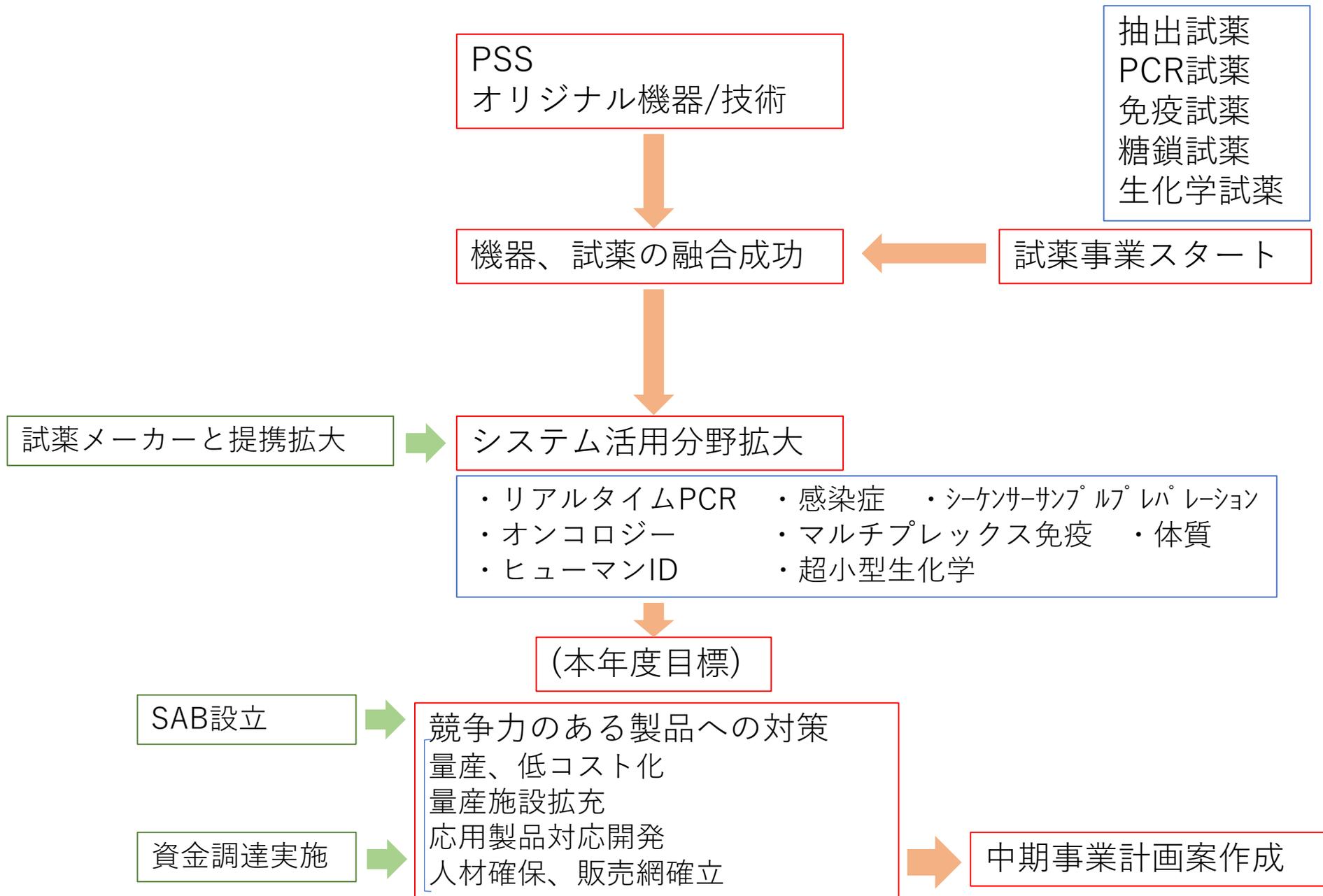
Precision System Science, Co., Ltd.

# 説明会概要

- 中期事業計画の進捗
- 2019年6月期第2四半期決算

# <PSS技術、機器、試薬の事業概要>

2018/6決算説明会  
資料より



# 全体像について

## 中期事業計画方針の進捗状況

### ①既存OEM取引の深耕及び新規OEM契約の獲得

- ✓ 中型の全自動遺伝子検査装置「geneLEAD XII plus」の順調な販売推移
- ✓ 中型の全自動遺伝子検査装置の新機種開発・OEM供給の基本合意

### ②自社製品のラインアップ充実と販売強化

- ✓ 小型の全自動遺伝子検査装置はCE-IVD対応をして、欧州圏より発売開始

### ③検査試薬ビジネスをはじめとする製品コストダウンによる利益率の向上

- ✓ 試薬・消耗品の安定供給、量産コストダウン設備投資の必要性(事業成長の重要課題)

### ④新規参入分野開拓

- ✓ 免疫細胞、分離、精製、培養の自動化⇒治療システムへの参入を検討中

### ⑤新たな設備投資を中心とした資金調達計画

- ✓ 第16回新株予約権行使による資金調達(574百万円)

# 事業の進捗

## 現在の(営業・開発)の進捗

### DNA自動抽出装置

- ・分子生物学分野の臨床応用への拡張と合いまって、増加の傾向にあり
- ・特に日本、アジア圏においては、(株)日立ハイテクノロジーズとの業務提携の効果が今後の期待
- ・新機種PreLEAD(多検体同時核酸抽出装置)の開発を終え、ラージボリューム(大容量)やハイスループット需要分野への導入も開始され、Magtration技術の活用範囲が広がっています。

### 全自動機geneLEADシリーズ(DNA抽出とリアルタイムPCRとの結合)

- ・OEM提携先であるエリテック社の臓器移植分野において需要が高まり、好調な出荷が続いております。
- ・PSSブランドのgeneLEADVIIIは昨年9月にヨーロッパにて結核、インフルエンザ項目をスタートし、本年はノロ、ロタ、アデノ等新規項目を順次発売してまいります。
- ・geneLEAD技術コンセプトは汎用性が高く、ユーザーフレンドリーであることが実証されつつあり、今後適応分野や地域を拡大させ、感染症だけではなくオンコロジー（ガン）やシーケンサー前処理等での利用を目指し開発を行います。

### LuBEAシステム(マルチプレックス測定技術)

- ・産総研、福島県立医科大学によるAMED糖鎖解析関連プロジェクトにおいて髄液を対象とした評価の実績をもとに、今後新しい診断マーカー(認知症等)である糖鎖による自動臨床検査システムにチャレンジします。

## 今後の取り組みについて

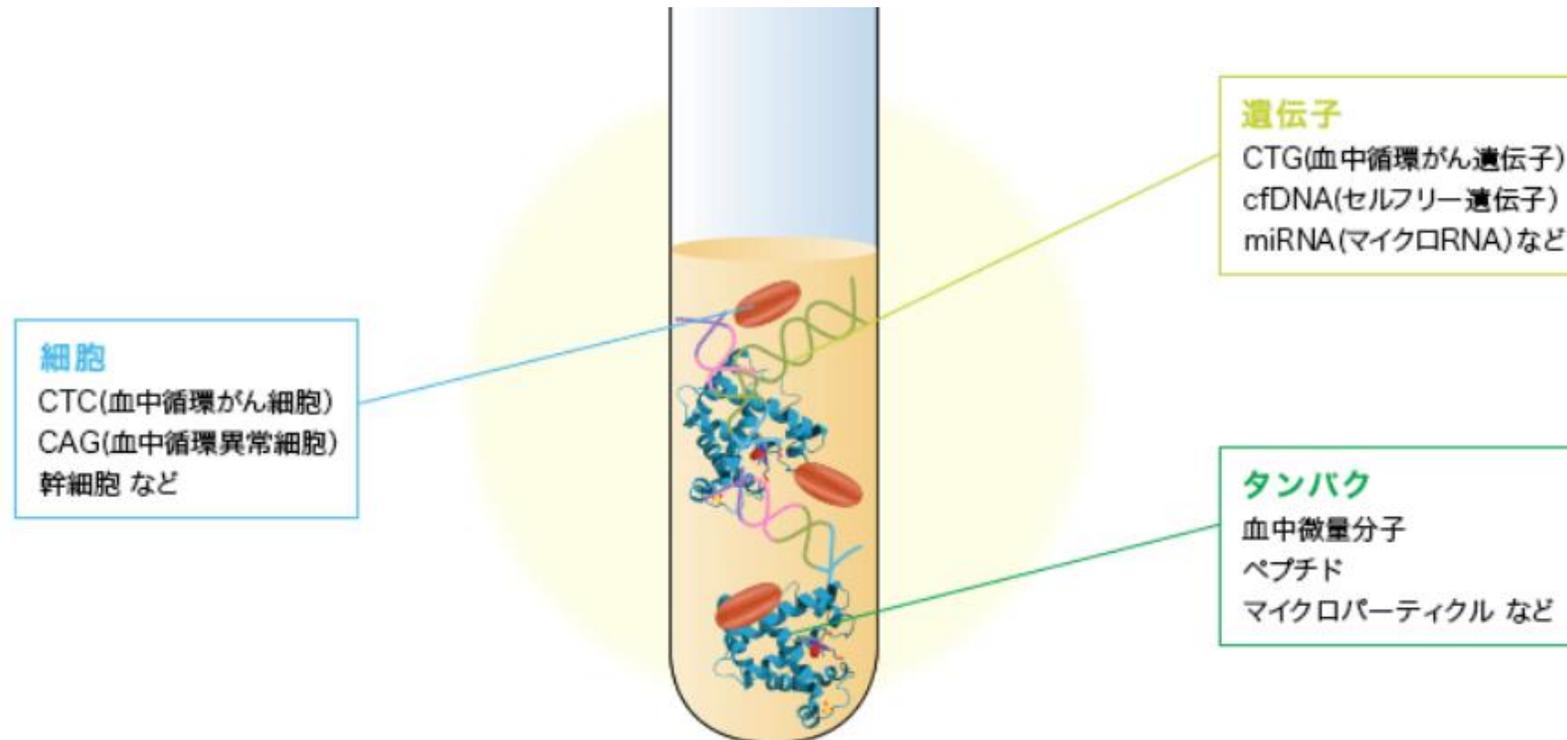
### 治療分野における自動化システム応用

- ・DNA、タンパク、糖鎖等細胞内高分子解析技術を細胞自体の分離、精製、分化、培養等の処理工程

# Challenge

## 血液中、体液中に含まれる疾病由来成分の解析

- ・ 遺伝子・タンパク⇒参入済、深化へ
- ・ 細胞⇒新規の研究開発テーマ



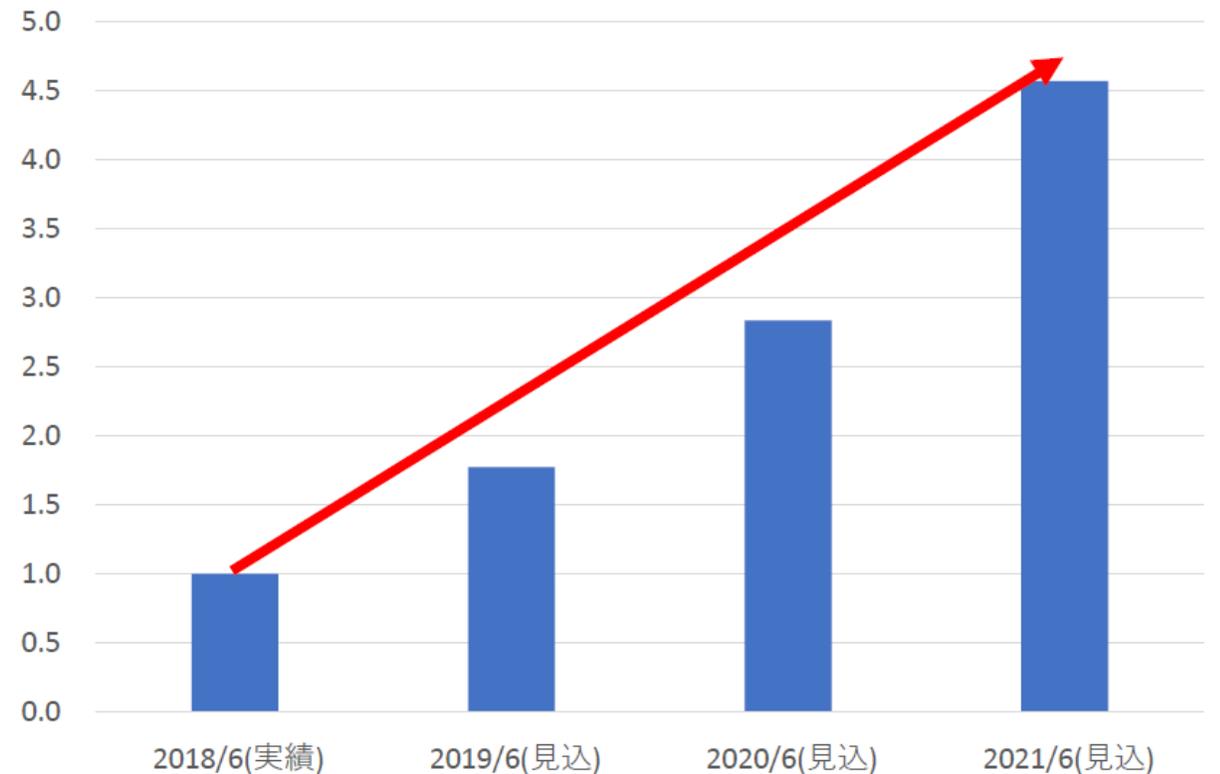
# 中型の全自動遺伝子検査装置の新機種開発

- 2018年8月8日付にてプレス発表いたしましたELITech社向けOEMの新たな製品開発に係る契約に基づき、Feasibility Study(試作を含めた量産設計のための基本検討)を開始しております。
- 2017年5月15日付にてプレス発表いたしました株式会社日立ハイテクノロジーズ社との資本業務提携に基づき、新機種開発に係るFeasibility Studyを開始しております。
- 上記両開発案件につきましては、ユニットごとに試作を行い、十分な検討・検証を行うことによって量産設計・開発の期間短縮およびコスト削減を目指しております。

# 試薬製造能力

## [半年間の実績]

- ORCにおける人員増、施設レイアウト等の見直しにより、生産限界能力は2018年度の1.5倍以上へ引き上げております。
- また全自動化ラインの計画的導入により、さらなる増産体制を整備するとともに、人員削減によるコストダウンを図ります。



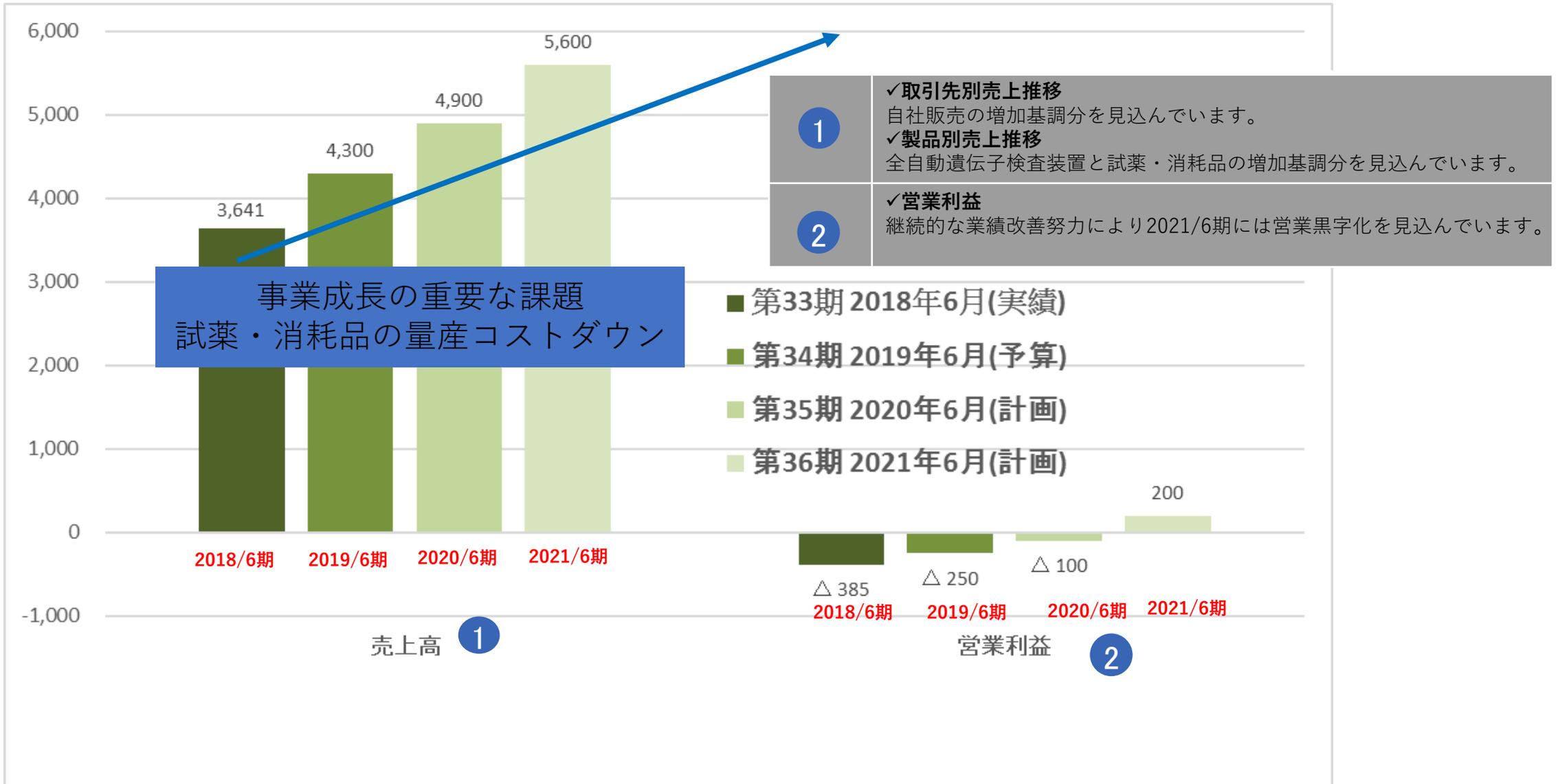
# 需要増に伴う増産とコストダウン



## [半年間の実績]

- 前項の計画に従って試薬製造の全自動化ラインの設計・製作を進めています。
- 現在組立調整が完了し、製造ラインの妥当性確認を実施中です。
- 今後の予定としては2019年6月以降にクリーンルームへ搬入し、試薬製造に適用する計画としています。

# 中期事業計画（2019年6月期～2021年6月期）について



# 第2四半期決算報告

■ 連結業績は、前期比増収増益となりました。  
費用削減努力により赤字幅は前期比大幅改善されました。

■ 特別利益及び特別損失を計上しました。

(単位:百万円)

◆ 第34期第2四半期業績及び対前期比



- 1** ✓売上高及び総利益の増収増益

エリテック社向けOEM製品である全自動遺伝子診断装置の販売や、DNA自動抽出装置の販売については好調に推移しました。全体としては前年同期比で増収増益となりました。
- 2** ✓販管費は前期比削減

研究開発費213百万円（前年同期比29.0%減）と減少したほか、その他費用の削減にも努めたことによるものです。
- 3** ✓赤字幅の改善

増収増益及び費用削減努力によるものです。
- 4** ✓営業外費用の計上

営業外費用として新株予約権発行費7百万円を計上しました。
- 5** ✓特別利益と特別損失の計上

特別利益として取引先との契約に基づく契約解除補償金6百万円を計上、特別損失として契約解除損失7百万円を計上しました。

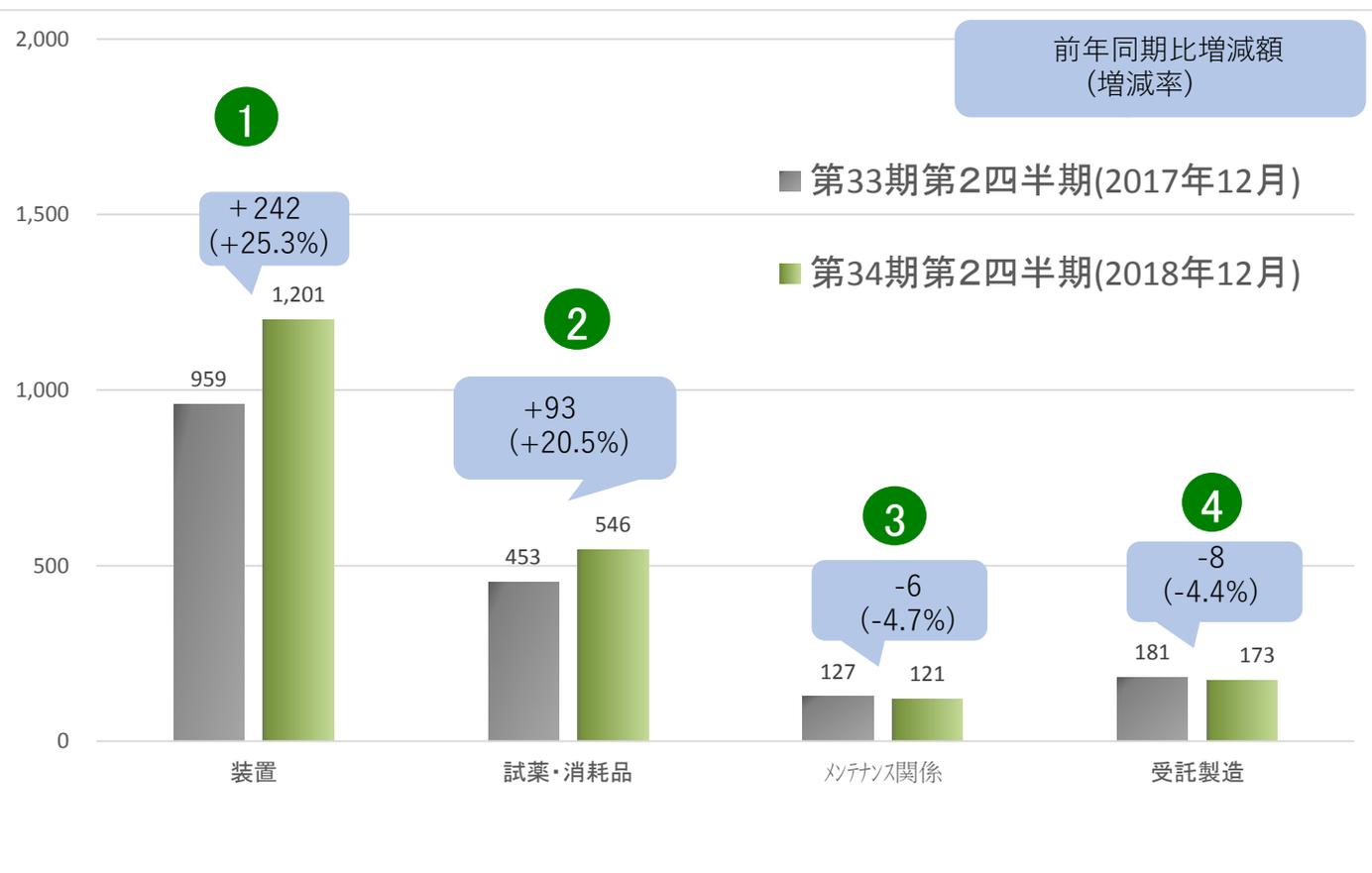
# セグメント別売上高

■ 装置及び試薬・消耗品セグメントは。前年同期比大幅な増収となりました。

■ メンテナンス関係及び受託製造セグメントは。前年同期比減収となりました。

(単位:百万円)

◆ 第34期第2四半期業績及び前期比



1	<p>✓装置</p> <p>ワールドワイドの取引先にOEM供給をしているDNA自動抽出装置の販売が好調に推移し、エリテック社向け全自動遺伝子診断装置の販売が好調により、増収増益となりました。売上高は1,201百万円（前年同期比25.3%増）となり、営業利益は132百万円（前年同期比131.6%増）となりました。</p>
2	<p>✓試薬・消耗品</p> <p>売上高は546百万円（前年同期比20.5%増）となりました。営業利益は46百万円（前年同期比42百万円増）となりました。前年同期比で増収増益となりました。</p>
3	<p>✓メンテナンス関係</p> <p>売上高121百万円（前年同期比4.7%減）となり、営業利益28百万円（前年同期比2.8%減）となりました。</p>
4	<p>✓受託製造</p> <p>売上高は173百万円（前年同期比4.4%減）となり、営業利益は58百万円（前年同期比126.5%増）となりました。当区分は、エヌピーエス㈱の収益確保のための事業となっています。</p>

# 業績予想と実績の差異

- 売上高は前年同期比大幅増加致しましたが、一部装置の出荷が下期にずれしたこと等により、全体として第2四半期の売上は2,042百万円（当初計画比2.7%減）となりました。
- 販売費及び一般管理費の削減効果(当初計画比135百万円減)により営業利益では当初計画を上回りました。

	① 売上高	② 営業利益	③ 経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,100	△120	△150	△160	△6円94銭
実績値 (B)	2,042	△4	△19	△21	△0円91銭
増減額 (B - A)	△58	116	131	139	
増減率 (%)	△2.7%	-%	-%	-%	
(参考) 前期第2四半期 実績 2018年6月期第2四半期	1,721	△229	△227	△235	△10円22銭

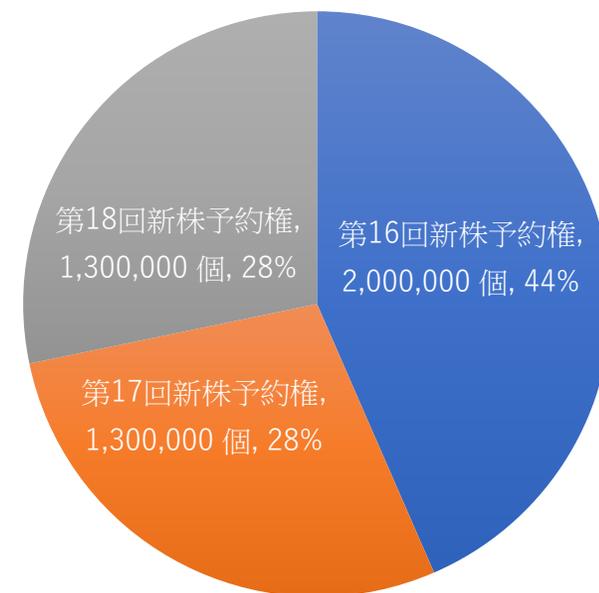
①	<p>✓売上高について</p> <p>2019年6月期第2四半期（累計）につきましては、エリテック社向けOEM製品である全自動遺伝子診断装置、ワールドワイドの取引先にOEM供給をしているDNA自動抽出装置の販売がほぼ計画通りに順調な推移となったことと、その他装置の出荷が下期にずれしたこと等により、全体として第2四半期の売上は2,042百万円（当初計画比2.7%減）となりました。</p>
②	<p>✓営業利益について</p> <p>2019年6月期第2四半期（累計）につきましては、上記の売上実績による影響は受けましたが、研究開発費を含めた販売費及び一般管理費の削減効果(当初計画比135百万円減)により営業利益では当初計画を上回りました。</p>
③	<p>✓経常利益について</p> <p>経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益についても当初計画を上回りました。</p>

# 資金調達について

- 第16回新株予約権は2019年1月9日までに全数行使されました。  
総額574,250,000円の資金調達を実施しました。

		第16回新株 予約権	第17回新株 予約権	第18回新株 予約権	合計
発行数		2,000,000 個	1,300,000 個	1,300,000 個	4,600,000 個
予定行使価額 の総額		804,000千円	527,800千円	534,300千円	1,866,100千円
行使想定期間		2018年9月12日 から約6ヶ月間	2019年9月13日 から約4ヶ月間	2020年9月14日 から約4ヶ月間	-
進捗 状況	行使 完了日	2019年1月9日 までに全数 行使完了	-	-	-
	資金調達 総額	574,250千円	-	-	574,250千円

第16回から第18回新株予約権発行(予定)数



本日は、PSSの事業説明の機会を頂きまして、誠に、ありがとうございます。  
今後とも、ご理解、ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、本資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予測に関する記述を含んでおります。これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

2019年3月1日  
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社  
URL：www.pss.co.jp

(お問い合わせは、IR・社長室まで)  
電話：047-303-4800  
メール：ir@pss.co.jp